



前後町長から感謝状を受ける岩橋さん(左)

教育行政発展の功績に感謝

前教育委員会委員長の岩橋紀男さんに感謝状

町教育委員を3期12年、うち8年間教育委員会委員長を務め、このほど退任された岩橋紀男さん(幸野)への感謝状贈呈式は10月1日、町役場で行われました。前後公町長は岩橋さんに感謝状を手渡し、「長年にわたり教育行政の振興にご尽力いただきありがとうございます。これからも町勢伸展のためにご協力をお願いします」と感謝の言葉を述べました。

世界の「野口」が撮影のコツを伝授

猪苗代ハーブ園で写真教室

猪苗代青年会議所による写真教室は9月27日、猪苗代ハーブ園で開かれ、参加者12人が撮影のコツを学びました。参加者たちは、講師を務めた本町出身の写真家、野口勝宏さんのアドバイスを受けながら、園内に咲くダリアやコスモスなどを撮影しました。参加者の国分希さん(吾妻小5年)は「少し工夫するだけでとてもいい写真が撮れるのに驚いた。これからは教わったことを生かして、たくさんいい写真を撮りたいです」と話しました。



野口さん(右)に撮影のコツを教わる参加者



子どもたちの人気を集めた乗口バ体験

親子連れなどが楽しく体験

国立磐梯青少年交流の家で「ばんだいフェスティバル」

体験の風をおこそう in 磐梯「ばんだいフェスティバル」は10月17、18の両日、国立磐梯青少年交流の家で開かれました。初日の夜は、宿泊した家族らがレクリエーションなどを通して交流を深めました。18日は、町内外から親子連れなど2250人が来場。クラフト、野外力検定、ナンビザ作りなど26種類の体験ブースで思い思いに楽しみました。町内から訪れた親子は「楽しく体験できる場があってうれしい。春もまた来ます!」と話しました。

道の駅新築工事の安全を祈る

土津神社で新築工事安全祈願祭

平成28年度のオープンを目指す「(仮称)道の駅猪苗代」の新築工事安全祈願祭は10月21日、土津神社で行われ、関係者が工事の無事を祈りました。神事後、前後公町長は「本施設は、農産物の高付加価値化を目指した特産品の6次産業化、総合観光案内機能を備えた観光周遊の拠点、さらには防災対策施設として利用したい。完成後は町の地域創生の拠点施設として、多くの方に利用していただけるものと確信している」とあいさつしました。



神事後、あいさつを述べる前後町長



結団式に臨んだ選手の皆さん

ふくしま駅伝の健闘を誓う

学びいまで町選手団の結団式

第27回市町村対抗県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)の町選手団結団式は10月18日、学びいまで行われました。結団式では渡部敏弘監督が「町の部優勝と昨年成し遂げられなかった全体での1桁順位、最後まで一本のタスキをつなぐことを目標に、チーム一丸となって大会に臨みたい」とあいさつしました。選手団を代表して國分伊三郎選手が「練習の成果を十二分に発揮し、正々堂々と走り抜く」と誓いました。ふくしま駅伝は11月15日、白河市のしらかわカタルスポーツパーク陸上競技場をスタートし、福島市の県庁前にフィニッシュする16区間、95.1kmで繰り広げられます。



結団式で宣誓する國分選手



練習の様子。選手たちは仕事や学業の傍ら、夜間の厳しい練習に取り組む



検閲官らの通常点検を受ける団員たち

冬を控え防火の誓い新たに

県消防協会猪苗代支部秋季検閲

県消防協会猪苗代支部の秋季連合検閲は10月25日、猪苗代小校庭で実施されました。猪苗代、磐梯両町の消防団から参加した約500人の団員たちは、町役場を出発し中央商店街を行進した後、同校の校庭に到着。通常点検、規律訓練や分列行進などをきびきびとこなし、防火の誓いを新たにしました。また、長年にわたり消防団活動に尽力した団員らをたたえ、功労章、功績章、永年勤続章、精勤章の表彰も行われました。

湖の水質改善願い共に汗を流す

東中の生徒と猪苗代ライオンズクラブが水草回収

東中学校と猪苗代ライオンズクラブは10月6日、猪苗代湖の天神浜で漂着水草の回収作業を実施しました。この活動は、腐敗すると水質汚濁の原因となる水草を回収し、湖の水環境を改善するため、平成23年から行っているものです。同校の全校生徒と同クラブの会員合わせて約120人が参加。生徒たちは、同クラブ会員の指導を受けながら、フォークなどを使って湖岸に打ち上げられた水草を熱心に回収しました。



水草回収に汗を流す東中の生徒とライオンズクラブ会員



お化けのいる薄暗い館内を子どもたちが探検

普段と違う図書館の雰囲気楽しむ

和みいなハロウィンを開催

「和みいなハロウィン」は10月16日、和みいなで開かれ、親子連れなどがハロウィーンの夜を満喫しました。仮装して集まった子どもたちは、ちょっぴり怖くて楽しいお話を聞いたり、薄暗い館内でお化けに変装した大人たちからはんこを集め、お菓子と交換したりして、いつもとは違った図書館の雰囲気を楽しみました。一緒に訪れたお父さんやお母さんたちは、かわいらしく仮装したわが子の姿を一生懸命写真に収めていました。

鈴木セキさんが100歳に

長寿を祝い、賀寿などを贈呈

10月8日に満100歳の誕生日を迎えた鈴木セキさん(西久保)への賀寿贈呈式は同日、特別養護老人ホーム咲楽の里で行われ、家族らが長寿を祝いました。加藤清司県会津保健福祉事務所長が知事賀寿と木杯を贈呈。続いて前後公町長と戸田忠義町老人クラブ連合会長が賀寿や記念品を贈った後、施設から記念品や花束などが贈られました。お祝の品を受け取ると、鈴木さんは「ありがとうございます」と元気な声で感謝を述べました。



前後町長から賀寿を受ける鈴木さん(左)



締結式で握手を交わす渡部代表理事(左)と前後町長

びわ沢原森林公園を桜の聖地に

「ふくしまサクラモリ」プロジェクト覚書締結式

「ふくしまサクラモリ」プロジェクトの覚書締結式は10月1日、町役場で行われました。この覚書は、びわ沢原森林公園を同プロジェクトのシンボルである「桜の聖地」として位置付け、全国や世界に向けて福島の復興を発信する拠点とすることを目的に締結されたものです。締結式では、同プロジェクトを展開する福志会の渡部良代表理事と前後公町長が覚書に署名。佐藤新太郎県会津農林事務所長が立ち会いました。

中学生が日ごろの練習の成果競う

北会津管内中学校体育大会新人総合大会

平成27年度北会津管内中学校体育大会新人総合大会は9月29日、町運動公園内の楽天イーグルス猪苗代球場、カメリーナや各校の体育館などで開かれました。町内3中学校と磐梯中学校の4校から、1、2年生約350人が参加。軟式野球、バレーボール、バスケットボールや卓球など7種目で日ごろの練習の成果を競い合いました。



卓球ダブルスで熱戦を繰り広げる選手たち



前後町長のもとへ報告に訪れた鶴巣さん(右)

長年の山岳遭難救助活動に感謝状

鶴巣忍さんが町長に報告

長年にわたり山岳遭難救助活動などに尽力し、10月23日に県山岳遭難対策協議会の感謝状を受けた猪苗代山岳会の鶴巣忍さんは同日、町役場を訪れ、前後公町長に報告しました。鶴巣さんは平成10年に同会に入会して以来、猪苗代地区山岳遭難対策協議会管内の遭難救助活動や遭難救助訓練などにおける指導育成に尽力。平成19年からは5年間、環境省自然公園指導員と県自然保護指導員としても活躍しました。

野口博士の記念切手を町に贈呈

オリジナルフレーム切手発行記念として

日本郵便東北支社はオリジナルフレーム切手「野口英世」の発売を記念し、町と野口英世記念館に切手を贈呈しました。町への贈呈式は10月1日、町役場で行われ、郵便局の県西部地区連絡会統括局長の佐藤賢之介旭田郵便局長らが前後公町長に切手を手渡しました。この切手は、博士ゆかりの地である会津地域と野口英世記念館のPRを目的に作成されたもので、会津地域の郵便局において1000シート限定で販売されました。



前後町長に切手を手渡す佐藤統括局長(右から2人目)ら



昭和村産のかすみ草でかんむりを作る来館者

来館者が多彩なイベント満喫

はじまりの美術館秋の収穫祭「はじマルシェ」

はじまりの美術館の「はじまるしゅ〜秋の大収穫祭!」は10月10、11の両日、同館で開かれ、町内外から訪れた大勢の来館者が多彩なイベントを楽しみました。普段作品を展示しているスペースを利用し、ヨガや折り紙、かすみ草のかんむり作りなどの体験型イベントが繰り広げられた他、外には食べ物や工芸品などのさまざまな出店が並び、来館者たちが思い思いに楽しいひとときを過ごしました。

子どもたちの福祉教育に役立てて

日本生命郡山支社が町にDVDを贈呈

日本生命郡山支社は10月19日、町内の6小学校と和みいなに福祉教育DVD各2枚を贈呈しました。同社は、さまざまな事例を通して、お互いに助け合って生きていくことの大切さなどを子どもたちに考えてもらおうと、小学生向けのビデオを制作。町へのDVD贈呈は、昨年に続き2回目となります。贈呈式は同日、町役場で行われ、日本生命郡山支社喜多方営業部の齋藤真由美さんが土屋重憲教育長に手渡しました。



土屋教育長にDVDを手渡す齋藤さん(左)